

経営比較分析表（平成30年度決算）

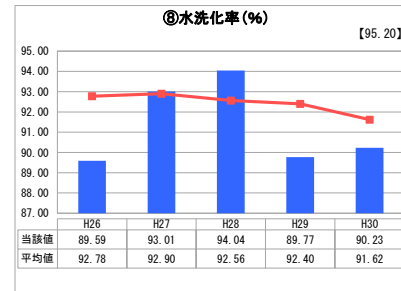
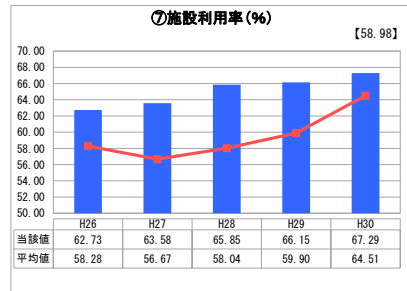
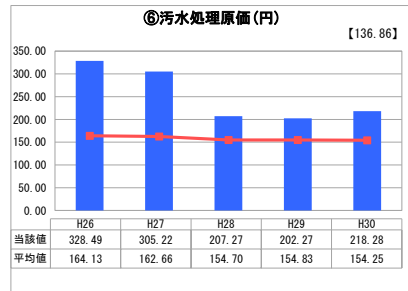
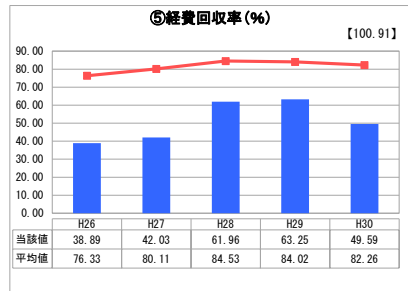
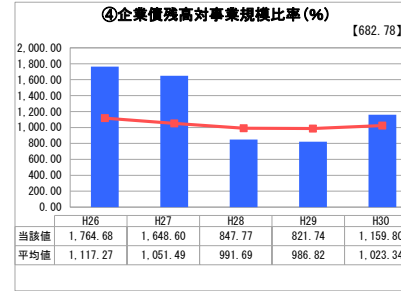
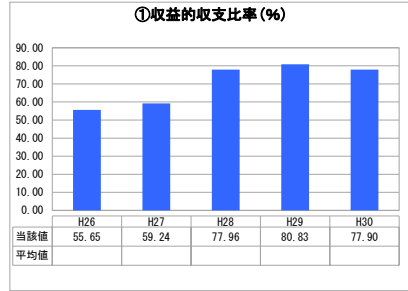
静岡県 御殿場市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	36.93	85.20	2,160

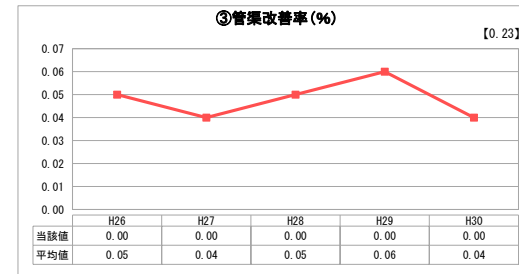
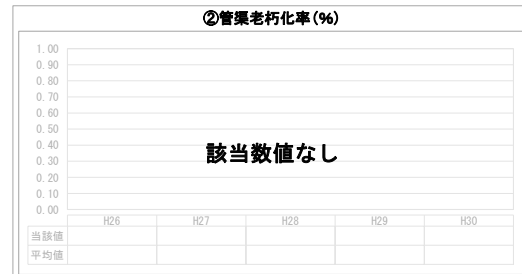
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
88,856	194.90	455.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,589	6.14	5,307.65

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【過去の数値について】
 ・①④⑤⑥について
 一般会計繰入金の基準の計算方法の見直しに伴い、平成27年度から平成28年度にかけて数値が改善された。

・⑧について
 1世帯あたりの人口を実績に合わせる等の見直しを行ったことにより、平成28年度から平成29年度にかけて数値が下がっている。

【平成30年度決算状況】
 対象の指標のうち、①が100%に満たないことや類似企業平均等との比較で④⑤⑥の数値が悪いこと的主要原因としては、昭和63年度の事業開始当初より借り入れている企業債の元利償還金額がピークを迎えていることが挙げられる。
 将来的には、整備の進捗により使用者が増加すること、企業債償還のピーク過ぎること等の理由により、数値の改善が期待できるが、現状では不足分に關して一般会計からの繰入れを前提に経営がなされている。

なお、⑤が前年度よりも大きく悪化しているのは、平成31年4月からの企業会計移行に伴う打ち切り決算のため、一部の使用料収入が反映されていないためである。

2. 老朽化の状況について

管渠は、ストックマネジメント計画に基づき点検・調査を進めているが、取得からの年数が最大で30年程度であるため、大規模な修繕・改築等が必要な状況とは言えない。ただし、耐用年数が短いマンホール蓋に関しては、今後、計画的に更新を行う予定である。

終末処理場についても、長寿命化計画に基づく改築から、点検・調査計画も含めたストックマネジメント計画へと移行することで、より計画的な管理を目指している。

全体総括

令和元年度に使用料の改定を行い、併せて企業会計へ移行した。また、投資面に関しても、終末処理場のストックマネジメント計画策定が完了する見込みである。
 以上の結果を踏まえ、今後、改めて中期的な経営計画を検討する予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。